

会津若松市・河東町新市建設計画の改訂(案)への意見募集結果

「会津若松市・河東町新市建設計画」を改訂するにあたり、改定案に対する市民意見公募(パブリックコメント)を実施しました。その結果及びお寄せいただいたご意見に対する市の考え方についてお知らせいたします。

1. 募集期間 令和2年9月25日～10月26日
2. 提出意見 2人の方から4件のご意見がありました。
3. 意見の要旨と市の考え方

	意見の要旨	市の考え方
北会津の事業について	東部幹線の二日町の所は大変危険です。東部幹線の通行量が少ないのは①大型車両の通行規制がされている②道幅が狭く危険だからです。	東部幹線の整備につきましては、これまで、観光バスが相互通行できるよう3カ所の道路拡幅整備を行ってきたところであり、今後、阿賀川に完成予定の新橋梁の開通に伴う交通量の状況を見ながら検討していく考えであります。
	北会津公民館は北会津農村環境改善センターと併設でも必要です。	北会津公民館につきましては、公共施設マネジメントの視点から、住民の皆様のご意見をお聞きしながら、北会津支所及び北会津農村環境改善センターの有効活用を含めた施設のあり方を検討しているところであります。
大学の設置等について	河東地域に農地をつぶさない形で国立大学・大学院を設置するよう国に要望していただきたい。	会津に4年制国立大学をとというご意見、ありがとうございます。大学等の誘致につきましては、最近では福島大学農学部のキャンパス誘致について要望してきた経過にあり、今後も大学の新設等の動向を注視しながら、要望活動を行ってまいります。
	市に打診があったという、日新館は、高校・大学・大学院・県立大学その他の徳育の総監として入手・運営すべき。	所有者から寄附の申し出を受けている日新館につきましては、取得するか否かを含め、現時点では、方針を検討中でありませす。